

亘理町防災会議 地震・津波対策専門部会（第1回） 会議録

○開催日時 平成25年 5月24日（金）10:00～11:30

○開催場所 悠里館 視聴覚ホール

○検討項目

- (1) 亘理町地域防災計画の見直しにおける重要事項について
- (2) 原子力災害対策について
- (3) 亘理町地域防災計画の目次構成（案）について
- (4) 今後のスケジュール（案）について
- (5) その他

○配布資料

- 資料－1 地震・津波対策専門部会の設置について
- 資料－2 亘理町地域防災計画の見直しにおける重要事項
- 資料－3 原子力災害対策
- 資料－4 亘理町地域防災計画の目次構成（案）
- 資料－5 亘理町地域防災計画見直しに係る今後のスケジュール（案）

1 開 会

2 部会長の選出

資料－1 地震・津波対策専門部会の設置について【事務局説明】

部会長 齋藤副町長

部会長代理 岩城教育長

3 部会長挨拶

皆様には大変お忙しい中、本日まで出席をいただきましたこと まずもって心より御礼を申し上げます。

また、日ごろ本町の防災行政の推進につきまして、格別なるご支援、ご協力をいただいておりますことにつきましても重ねて御礼申し上げます。

さて、東日本大震災からもうすぐ2年3か月が経とおとしており、本町におきましても、関係機関の皆様方のご協力のもと復旧・復興事業を可能な限りの財源と人材を集中させ、スピード感を持って進めておるところでございますが、亘理町地域防災計画の見直しにつきましても急務となっております。

平成20年3月に策定いたしました本計画は、その当時、高い確率で発生が予想されておりました宮城県沖地震の防災対策が中心の内容となっております。

しかしながら、ご承知のとおり東日本大震災は、それをはるかに上回る甚大なる被害を本町にもたらし、現在も多くの町民の方々が不自由な暮らしをしておるところでございます。

町としましては今回の震災の被害を検証し、ハード・ソフト両面の対策をさらに講じることにより、東日本大震災と同等クラスの災害が起こっても人命が失われることのない、地震や津波に強いまちづくりを目指していきたいと考えているところでございます。

そのためには、本日までご参集いただきました様々な面での専門的な知識を有した皆様方とそれぞれの立場でのご意見を拝聴し、反映させながら、計画の策定を進めるべきと考えているところでございます。

本町民が安全で安心できるまちづくりのためには、本日も集まりをいただいております皆様方、関係機関、そして町当局がより緊密な連携を構築し、万全の体制で対策に取り組んで行くことが大変重要でございます。

本日の会議につきましては、皆様からの忌たんのないご意見をお願い申し上げまして、簡単ではございますがあいさつとさせていただきます。

4 委員紹介

専門委員名簿により紹介

5 検討項目

(1) 亙理町地域防災計画の見直しにおける重要事項について（資料－2）

資料－2により事務局より内容を説明。

【委員】

3.11の津波災害においては、救助の最中に津波警報が出るという状況であったが、救助隊が退避する場所が周辺にはなかった。そのため、周辺に津波避難ビル等の高い建物が必要である。

また、応援隊のヘリで救助された方の搬送先がバラバラであったことから、救助された方の把握が難しかった。今後、防災センターとヘリポートの整備が必要と感じたのと同時に、防災センターは、役場や消防署の近くが配置することが望ましいと思う。

【事務局】

避難タワーや避難広場（小高い丘）については、整備を検討しており、地域防災計画に反映させていく。また、防災センターとヘリポートにつきましては、公共ゾーンが候補地の一つであると考えている。

【委員】

小学校の児童を優先的に避難させるための車両の確保や、緊急車両等による先導が必要と考えている。また、道路整備においても、ボトルネックを作らないような整備をお願いしたい。

【事務局】

小学校の児童の緊急車両を使つての優先避難については、時間的な面や規模が大きくなると難しい面もあるため、今後の検討課題としたい。

また、避難道路の整備については、浸水エリアからすばやく抜けられるような道路整備を進めていきたい。

【委員】

防災対策としては、非常に広範囲の内容となるが、時間と予算は限られるため、優先順位を決めた実行計画を立案し、実現していくことが望ましいと考える。また、地域防災計画においては、誰が主体かを明記してほしい。自助なのか、公助なのかを明記する必要がある。

(2) 原子力災害対策について（資料－3）

資料－3により事務局より内容を説明。

【委員】

地域防災計画に記載する項目として、汚染されたものの処理に関する項目を追加してほしい。現在、放射能汚染された魚の処理に困っており、冷凍庫で保管している状況である。

【事務局】

処理方法の追加について、検討していきたい。

(3) 亙理町地域防災計画の目次構成（案）について（資料－4）

資料－4により事務局より内容を説明。

今後、地域防災計画の内容を検討していく中で、項目の変更・追加もあることを了承願いたい。また、重要な項目については、本日原子力編の概要をお示ししたように、見直した文案を提示していきます。

(4) 今後のスケジュール（案）について（資料－5）

資料－5により事務局より内容を説明。

(5) その他

【学識経験者からのコメント】

（東北大 佐藤委員）

本日説明のあった、地域防災計画の見直しの重要事項については、住民を主体とした項目が多く含まれている。地域防災計画を策定した後も、住民・職員を対象とした検証を行っていくことで、地域防災計画が充実したものになっていくと思う。

（東北大 今井委員）

災害対策は、地域防災計画を作ることが目的ではなく、継続して検討していくことが重要である。津波避難タワーの整備においては、単にタワーをつくるだけではなく、つくったあとの維持管理をどのようにして継続していくかを含めて検討しておくことが重要である。

（東北大 大野委員）

東北大学災害科学国際研究所で研究していることを、本町の防災対策に役立て、地域に貢献していきたいと考えている。町の地域防災計画が実りあるものになるよう、お手伝いしたい。

【委員】

海の近くには、人が戻ってきている。今後は、将来に向けて避難道路の整備など、最低限のことはやってもらいたい。

【委員】

地域防災計画については、見直ししたものがすぐ活用できるようにしてもらいたい。亘理町の良さとして、地域がつながっていることが挙げられる。東日本大震災の際も、地域で声を掛け合ったことが大きかった。実際、地域の人に助けられた生徒も多い。ローカリゼーションが亘理町の良さであり、地域の連携、共助の視点を地域防災計画にも反映してもらえたらと思う。

6 閉 会